

現代心理学部 心理学科・映像身体学科 卒業論文，卒業制作，卒業研究について

1. 卒業論文，卒業制作，卒業研究の位置づけ

- (1) 卒業論文，卒業制作，卒業研究は，4年間の学習成果を集大成するもので，指導教員の綿密な指導を受けて，意欲的に取り組むことが期待される。映像身体学科の卒業制作は，映像作品（映画，写真，グラフィック等），パフォーマンス映像記録（演劇，ダンス），言語表現（シナリオ）など，多様な形態がありうる。心理学科の卒業研究は，海外における留学体験に基づき，関心をもった心理学に関するテーマや事柄について，自ら資料を収集し，研究の成果をまとめるものである。
- (2) 卒業論文，卒業制作，卒業研究は各学科の指導内容にしたがって執筆，制作し，提出しなければならない。指導教員が，適切と認めた場合には，卒業論文または卒業制作として，共同執筆論文，共同制作を提出することができる。この場合，各人の担当した役割を卒業論文，卒業制作論文で明確にしなければならない。また，提出物は各自が指定された部数（2部）を提出すること。卒業研究の共同執筆は原則的には認めない。
- (3) 映像身体学科において，卒業制作を提出する場合は，作品の目標，問題意識，制作過程，意義などを論述する卒業制作論文を添付しなければならない。
- (4) 卒業研究については，心理学科の履修規定を参照すること。
- (5) 心理学科では，共同執筆論文と研究協力をそれぞれ以下の通り区別する。学生が他者と協力して卒業論文の作成を行った場合は，以下の点を必ず確認し，必要に応じて手続きを行うこと。

【共同執筆論文について】

- ・共同執筆論文とは，研究計画の立案，問題の設定，データの収集，データの分析，結果の解釈，考察等，卒業研究に関する作業を全て他者と共同で行った場合に作成するものである。
- ・共同執筆論文を作成する場合は，事前に指導教員に相談し，了解を得なければならない。
- ・共同執筆論文では，同一の内容の論文を，各人がそれぞれ提出しなければならない。その際，共同執筆者の氏名と各人の担当した作業上の役割および執筆における分担内容を卒業論文内で明記しなければならない。また，表紙において，共同執筆者名を明記しなければならない。
- ・卒業研究に関する作業の全てを他者と共同で行ったにもかかわらず，適切に共同執筆論文の体裁が取られていないと見なされた場合，卒業論文の評価が行われないことがある。

【研究協力について】

- ・研究協力とは，卒業研究に関する作業の一部（例えばデータの収集，分析）を他者と共同で行った場合に作成するものである。
- ・研究協力を行う場合は，事前に指導教員に相談し，了解を得なければならない。
- ・研究協力を行った場合は，異なった内容の論文を，各人がそれぞれ提出しなければならない。また，研究協力者の氏名および研究協力を行った作業内容を卒業論文内に明記しなければならない。また，表紙において研究協力者名を明記しなければならない。

- ・卒業研究に関する作業の一部を他者と共同で行ったにもかかわらず、適切に研究協力した旨が記載されていないと見なされた場合、卒業論文の評価が行われないことがある。

種別	要件	要記載内容	論文の内容
共同執筆	卒業論文作成に関する全ての作業を他者と共同で行う場合	1. 表紙において、共同執筆者名を明記する。 2. 共同執筆者名と各人の担当した作業上の役割および執筆における分担内容を卒業論文内で明記する。	他者と同一
研究協力	卒業論文作成に関する作業の一部を他者と共同で行う場合	1. 表紙において、研究協力者名を明記する。 2. 研究協力者の氏名および研究協力を行った作業内容を卒業論文内に明記する。	他者と異なる
注) 卒業研究に関する作業を他者と共同で行ったにもかかわらず、適切に共同執筆論文の体裁が取られていないと見なされた場合、卒業論文の評価が行われないことがある。なお、卒業研究に関する作業を他者と共同で行う場合は、必ず指導教員の了解を得た上で指示を仰ぐこと。			

2. 履修登録

履修登録方法は学科によって異なるので、それぞれの学科の履修上の注意を参照すること。

3. 卒業論文、卒業制作、卒業研究の提出

(1) 提出場所・期間・様式

提出場所：新座キャンパス 7号館 3階アカデミックホール

提出期間：2025年12月10日(水)～12日(金) 9:00～17:00

提出様式：現物(紙)

在学8学期以降で春学期に「卒業論文」「卒業論文・卒業制作」または「卒業研究」を履修登録している学生の提出期間は下記の通り。

提出場所：新座キャンパス 7号館 1階教務事務センター

提出期間：2025年7月2日(水)～4日(金) 9:00～17:00

提出様式：現物(紙)

*卒業論文を複数回提出することはできない。万一、複数回提出された場合は、最初の1件のみを採点の対象とする。

(2) 提出物と提出部数

【心理学科】

	提出物	部数など
卒業論文	論文	2部 * <u>共同執筆の場合も、各自が2部提出すること。</u> * 原則としてくるみ製本とし、仮製本（フラットファイル綴じのみ）も認める。
	抄録	1部（心理学科教育研究支援室に提出） * 学科で定める書式に従い作成したもの。 * <u>共同執筆の場合も、各自が1部提出すること。</u>
卒業研究	研究レポート	2部 * 原則としてくるみ製本とし、仮製本（フラットファイル綴じのみ）も認める。
	抄録	1部（教育研究支援室に提出）

【映像身体学科】

	提出物	部数など
卒業論文	論文	2部 * <u>共同執筆の場合も、各自が2部提出すること。</u> * 原則としてくるみ製本とし、仮製本（フラットファイル綴じのみ）も認める。
	論文要旨	2部 * 論文の目次の前に1部ずつ綴じ込んで提出すること。 * <u>共同執筆の場合も、各自が論文に綴じ込んで提出すること。</u>
卒業制作	制作物	2部 * <u>共同制作の場合も、各自が2部提出すること。</u>
	制作論文	2部 * <u>共同制作の場合も、各自が2部提出すること。</u> * 原則としてくるみ製本とし、仮製本（フラットファイル綴じのみ）も認める。
	論文要旨	2部 * 論文の目次の前に1部ずつ綴じ込んで提出すること。 * <u>共同制作の場合も、各自が論文に綴じ込んで提出すること。</u>

〈卒業制作〉


- * 制作物と制作論文（論文要旨を目次の前に綴じたもの）を1部ずつ封筒に同梱し、封筒に論文の表紙（③提出時の注意〈表紙作成見本〉参照）を書いて提出すること。提出時は内容物を確認するので、糊付けやセロテープ等で封筒の口を閉じないこと。

(3) 提出時の注意

- ① 提出する論文すべてに表紙をつけること。表紙には、提出年度、題目、指導教員、学部・学科、学生番号、氏名を必ず明記すること。

<表紙作成見本>

20XX 年度 卒業論文	
○○○○○○○○○○	← 題目
指導教員：○○○○	← 指導演習 2 に登録した教員名
(指導教員：□□□□)	← 研究指導教員が別にいるときは <u>括弧書きで</u>
現代心理学部○○学科	← <u>下段に付記する (いないときは記載しない)</u>
○○○○ △△△△	← 学生番号・氏名を記載
(共同執筆者：◇◇◇◇ □□□□)	← <u>共同執筆者がいるときは括弧書きで</u>
	← <u>下段に付記する (いないときは記載しない)</u>

	
指導教員：○○○○	
現代心理学部○○学科	
○○○○ △△△△	
(研究協力者：◇◇◇◇ □□□□)	← 研究協力者が別にいるときは <u>括弧書きで</u>
	← <u>下段に付記する (いないときは記載しない)</u>

- ② 卒業論文，卒業制作論文，卒業研究は，原則としてくるみ製本とし，仮製本（フラットファイル綴じのみ）も認める。
- ③ 細部の規定については，各学科の指示による。不明な点は指導教員に確認し，その指示に従うこと。
- ④ 提出にあたっては，提出証を添えること。

4. 口頭試問

卒業論文，卒業制作，卒業研究提出後（1月下旬～2月上旬）に，口頭試問を行う。日程は1月中に現代心理学部 Web 掲示板に発表する。春学期に卒業論文，卒業制作，卒業研究を提出した者は，7月下旬に口頭試問を行う。日程は卒業論文，卒業制作，卒業研究提出受付後，現代心理学部 Web 掲示板に発表する。

以下、履修要項より抜粋

*****レポート・論文等の提出に際しての注意*****

■Web提出

レポート・論文等は、指定された提出期限後は受理しないので時間厳守のこと。通信上のトラブル（インターネットに接続できない等）や電子機器上のトラブル（処理速度が遅くなった等）を理由とした提出期間後の提出は一切認められないので、十分余裕をもって臨み、提出すること。ただし、締切日当日、不測の事態により、本人が提出期限までにレポート・論文等を提出できない場合は、当日の締め切り時刻以前にその対応について所属キャンパスの教務窓口にお問い合わせ、指示を受けること。不測の事態とは、事件・事故などの場合を言う。

*機器（パソコン等）の故障、通信上のトラブル、データの紛失などは、不測の事態に含まれないので注意すること。

学校感染症のため出校停止となった学生のレポート・論文等の提出について

出校停止となった場合でも自宅等からWeb提出が可能であるため、いかなる代替措置も認めない。必ず提出期間内に提出すること。

■現物（紙）提出

論文等は、指定された提出期限後は受理しないので時間厳守のこと。交通機関等の遅延も予測されるので、提出にあたっては十分余裕をもって臨み、本人が提出できない場合は、信頼できる代理人に依頼する等の措置を講ずること。ただし、締切日当日、不測の事態により、本人または代理人が提出期限までに論文等の提出に来られない場合は、当日の締め切り時刻以前にその対応について所属キャンパスの教務窓口にお問い合わせ、指示を受けること。不測の事態とは、事件・事故や交通機関等の大幅な遅延などの場合を言う。

*プリンター等、機器の故障は不測の事態に含まれないので注意すること。

学校感染症のため出校停止となった学生の卒業論文・修士論文の提出について

上記に該当した場合は、以下の指示に従うこと。

1. 上記の提出物の提出期間において本人が出校停止中である場合は、代理人を立て、当該期間内に提出することを原則とする。

代理人による不備は、依頼した本人の責任となる。

2. 1. において代理人を立てることができない場合は、締め切り時刻以前に所属キャンパスの教務窓口連絡し、指示を受けること。

〈以下のすべてに該当する場合、後日の提出を認めることがある〉

- ① 上記2. に該当する学生であること。
- ② 医療機関が記載し証明した大学所定の書式である「学校感染症登校可能証明書」、または医療機関の発行する出校停止期間と登校可能日が記載された「診断書」の提出によって、締切日当日に学校感染症に罹患して出校停止中であった事実が証明できること。
- ③ 「出校可能となった日またはその翌日（窓口対応可能日）」に提出すること。